

第 7 回

山口市本庁舎の整備に関する検討委員会

平成 29 年 1 月 20 日（金）

山口市本庁舎の整備に関する検討委員会事務局

目 次

- 1 第6回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について・・・・・・・・・・ 1

- 2 第6回検討委員会後、事務局に提出された意見書について・・・・・・・・・・ 7

- 3 平成28年12月議会における答弁（要約）について・・・・・・・・・・ 11

- 4 新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について（意見まとめ）・・・・・・・・ 18

1 第6回山口市本庁舎の整備に関する検討委員会について

1. 日時

平成28年11月25日（金）午後2時～午後4時10分 セントコア山口

2. 概要

(1) 事務局からの説明事項

- ・新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について

(2) 委員からの意見等

	意見（要約）
1	<ul style="list-style-type: none">・全ての委員が発言して答申をまとめていくべき。・以前、グループに分かれて議論すべきと提案したが、考慮されていない。・全体で全員が発言するのなら、検討がまだ3～4回も必要で、納得できるまで答申を急ぐべきでない。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none">・グループでの議論は、グループをまとめ、その意見を全体でどうまとめるかを考えると、中々難しい。・そうしたことで、前回は、これまで発言されていなかった市民委員に意見をお伺いした。・全員が納得する答えを出すのは難しいかもしれないが、ある程度までいければ良いと思う。・6回で結論を得ると最初にお話しているが、それぞれの立場の人が参加されている。急ぐつもりはないが、引き伸ばすわけにも中々いかない。・そういう意味でも、委員から積極的に意見を出してもらいたい。
2	<ul style="list-style-type: none">・前回、会長から提案があったが、新山口駅周辺の候補地が除外され、従来の3候補地に絞られたことは寝耳に水だった。・民有地は取得に時間を要する、又は所有者の計画の妨げになるという理由で除外されたが、現地の所有者の方で、相談に乗ってもよいという方もいると聞いている。・答申は1箇所に絞るべきなのか。・再度、新山口駅周辺を検討していただきたい。・附帯決議はかつての自治体同士の契約であり、新山口駅周辺を除外することは、契約違反になる。・全てシナリオや結果が決まっているように思える。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none">・前回、候補地を絞る提案をしたとき、皆さんから反対意見はなかったので、承認されたものと考えていた。・現実に土地所有者からどちらの計画が進むのかと問合せがあったが私としても答えられない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現実に、新山口駅周辺では市民が選んだ市長と議会が承認した開発計画が進んでいる。それと庁舎の話を検討委員会で話すことは難しいし、問題が複雑になりすぎるということで、最初の前提に戻したらどうかと考え、提案した。 ・ 附帯決議では「新山口駅周辺が適地であるという意見を踏まえ」とあるが、「適地である」とは書かれていない。 ・ そこで、前回、まとめる方法として、皆さんが考える「適地」を「適地」の評価の指標として列挙し、全体の評価としたらどうか、とした。 ・ 民有地の件は、不満はあるかもしれないが、問題が複雑になるので、元の候補地に戻って、皆さんが考える「適地」をしっかりと議論し、市に戻したい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の運営について、会長は公平・公正に扱っていると思う。 ・ 民有地は、私自身もどうかと思っており、外して良しとして、反対をしなかった。 ・ 新山口駅周辺に新本庁舎をという意見広告が出ていたが、「新山口駅周辺が適地であることを踏まえて協議すること」とあるが、正しくは、「新山口駅周辺が適地であるという意見を踏まえながら・・・」であるし、附帯決議より、本文である、「市民の利便性や市の均衡あるまちづくりに配慮し、協議検討・・・」が優先されると思うし、地方自治法にも規定されている。 ・ 将来性や発展性も大事だが、住民の利便性を考えるのが第一であり、ハンディのある人のことも考えるべき。 ・ 評価項目の将来性、発展性と庁舎の評価は少しつながらないのではと感じる。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防府市長が合併当時に新市の庁舎の位置は小郡と決まっていたと発言している。これが原因で防府と徳地は協議会から脱退したのであり、軽々しく決まったものではない。 ・ 1市3町合併調査研究会の中で、新市の名前は「山口市」にしよう、庁舎の位置は「新山口駅周辺」でいいのではと確約されていた。議事録にもある。 ・ 附帯決議を昔のこととして反故にするのでは、この検討委員会の存在価値が失われる。 ・ 候補地の評価表は、有識者だけの意見が載っている。このようなやり方で良いのか。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 附帯決議を反故にするつもりはなく、「適地」というのは何かということが書かれていないので、それを検討委員会の中で何が「適地」なのかを考えて、まとめていきたい。 ・ 委員の皆さんに評価表の検討する中で意見をいただきたい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新山口駅周辺を推す。 ・ 人口重心もわかるが、将来を考えると、現在地への建て替えは市の発展の先は見えている。 ・ 1点に機能が集中するのではなく、広い市域で考えていかないといけない。 ・ 過去、公の場ではないかもしれないが、市長が「南部の発展なしに山口市の発展はない」と発言している。 ・ 住民サービスの全てを本庁でやろうというのは無理。支所や地域交流センターで、住民に近いところで対応を強化していけば良い。

6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会は、市民代表である。評価表に基づき、きちんと適地について、総意をまとめていくべき。 ・ 附帯決議は重要であるが、ここで検討するべきではない。話しても話が進まない。 ・ 庁舎の位置については、答申後、市や議会に任せれば良い。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年11月、市長から会長への諮問の際、山口市の将来性について述べられていたので、将来性を考えないのはおかしいのでは。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渡辺市政の中で、小郡をどう発展させていくか、将来ビジョンに基づき進められている。 ・ 将来構想が、議会を通して決められて、新山口駅周辺は、商業の中心地で発展させていくことで、プランニングの公募（拠点施設整備事業者募集）をするところまで決められたと聞いている。その整合性を崩してまで検討することは難しい。 ・ 候補地の順位をつけるかどうかはこのあと検討するとして、「適地」とは何かを皆さんと話したい。 ・ 私と副会長で評価を行い、○と◎でつけている。違うという意見があれば、これから修正していきたい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「将来性・発展性」について、小郡が「◎」となっているのは分かるが、山口も交流人口から見て十分発展性があるのに「○」となっているのはなぜか。ぜひ「◎」としてもらいたい。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状から見た「将来性・発展性」の可能性の大きさとして、（逆の悪くなる可能性もあるかもしれないが、）小郡を「◎」としており、山口は現状とあまり変化がないだろうということ「○」としている。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ この評価表の山口地域、小郡地域とは、それぞれどこまでの範囲を考えているのか。 ・ 山口地域のほうが広く感じられる。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山口は大体、山口駅～現庁舎のあたりを考えていただければと思う。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5の「将来性・発展性」が他の項目より重要性が高い。 ・ 市が発展するには、市外からどれだけ人や企業を呼び込めるかであり、玄関口である新山口駅で旗を振らねば意味がない。 ・ 嘉川、佐山、陶など広大な土地があり、将来性は十分ある。 ・ 利便性も大事とは思いますが、市民が皆、本庁舎に行く必要はないし、国・県との連携窓口も県内多くあるので、どこでも同じではないか。 ・ 防災についても、山口も小郡もあまり関係ない。

1 1	<ul style="list-style-type: none"> ・まず本庁舎を建て替えることとなった原点に戻って考えるべき。 ・庁舎の位置、国・県との連携などがあるが、安全性を一番に考えるべきで、危険な庁舎を早く耐震性のある庁舎へ建て替えることが大事。 ・評価表は素晴らしいものができている。全くこの通りであり、市長、議会に戻したほうがよいのではないか。 ・一日も早く建替えたほうがよい。
1 2	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の検討委員会は、目的から外れた検討になっていたのではないかと。 ・以前の合併協議会の話を持ち出しているが、ここは庁舎をどういうところに建てれば良いかや、機能などを考えるべきであって、場所を決めるのではないと思っている。 ・一つの項目でなく、全体的に検討するべき。位置は最終的に議会で決めることである。 ・議論できる範囲とできない範囲がある。 ・新しい意見があれば別だが、会議を長引かせるのは全く時間の無駄だと思う。
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞に連携中枢都市について記事が載っていたが、これから宇部市と連携していくのに、評価表には空港についての記載がない。 ・将来、連携中枢都市を進めるにあたって、新山口駅周辺が適地と考える。 ・県庁を現在の位置に建てたのがそもそもの間違い。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港は自動車のアクセスに入っているのかなとも思っている。 ・庁舎の検討に連携中枢都市は入るのか、連携にどれだけ影響があるのか、庁舎が近づけば連携が深まるのか、判断は難しい。そういうのも含め将来性・発展性の判断をした。 ・前回、専門委員が言ったことで印象に残っているのが、新山口駅周辺の事業は将来の発展のためのプラスの政策である。その時、本庁舎が移れば、小郡は発展していく見通しだろうが、引き算になる山口がどうなるのかの推測が難しいという意見があった。 ・今回のような評価表があり、適地である意見があれば、我々が検討する意見はこんなものになるのではないのでしょうかという提案ができるのではないだろうか。
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県勢の歴史をたどると、県内60%の数字が出れば良いのではないかと考えた。 ・発展するところに投資するのは当たり前のこと。 ・なぜ有識者のみの考えで評価表を作ったのか。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それを今日、考えていきたい。それが一番の目的である。
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・3の「まちづくり」について、総合計画の前に新市建設計画がある。これを踏まえて、新市のまちづくりを考えているのか。 <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画は、市長のもとで議会を通して作られている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新山口駅周辺はA～Cゾーンの計画もあり、商業を中心に発展させていくようになっている。現在施設業者の提案の公募も進んでおり、そこに庁舎建設が入ると政策が一致しないということになる。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回資料で示している。総合計画において、山口都市核、小郡市核の位置づけをしている。総合計画は、合併時の「新県都のまちづくり計画」を踏まえた形で作っている。
16	<p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価表について、評価項目の大項目（1～5）ごとに考えていきたい。 ・本日発言されていない方からも意見をいただきたい。 (委員から意見無し) <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小郡と山口が合併する時に附帯決議があった。これは解釈が難しく、いろんな経緯があったことを委員から御発言いただいた。 ・あのような文案でなければ合併はできなかったのだろうと推測はしている。 ・それが残って我々に課された。そして、どうするかということで、皆さん個人が、附帯決議があるということを入り、考えていただくように言った。 ・最終的にこの評価表は、適地の考え方をここにまとめたものだ。 ・先ほども話があったが、どの項目に重みをつけるかという加重平均などの考え方があると思うが、個々の委員の意見は簡単にまとまらないことは想像しており、表のように◎、○、△という形でしかお示しできないのではと思っている。その個数を数え、どこが適地であるというのを最終的に我々の合意としてできればいいかなと思っている。 ・我々は非常に難しいことを答申として出さないといけない。6回の会議で意見を言っていた。時には強制的に意見を言っていた。この集大成がこの評価表だと思っていたらと思う。 ・庁舎の位置を変更する場合は、議会で2／3以上の賛成が必要である。議会での議論の際、1年以上にわたる我々の集大成である答申書も出てくると思う。最終的には、それも参考に議会で決めていただければいいかなと思っている。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・小郡か山口か、位置については平行線のまま。 ・答申について、1本でまとめるのか、両論併記でいくのか、それを集約しないと、議論の繰り返しになる。 ・評価表はこんな労作を作っていたので、そう意見をはさむところもない。 ・場所は、絶対どこでないといけないということはないと思う。委員会として意見をどう集約させるかを検討したほうが良いのではないか。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・17の意見に同感である。答申では、両論併記でも良いので、片方を切り捨てるようなやり方だけはやめてほしい。

19	<p>・適地はひとつしかなく、どういう方法であれ、ひとつにまとめて答申すべき。</p> <p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どう方針を示すかに議論が集中し、評価に対する意見が出されない。 ・答申には、この表をまず出して、どう書いていくかというところかなと思っている。 ・山口、小郡どっちに建てるかという話になっている。新山口駅を評価に加えることもできるが、殆ど変わらないと思う。逆に不利な部分もある。例えば、市有地がない。 ・機能の答申案について、原案を作っているので説明をお願いします。
20	<p>・子育て支援の立場から、新庁舎の駐車場は、障がい者だけでなく子育てをする人のための屋根つき駐車場を6台くらいは整備してほしい。</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備の段階で検討したい。
21	<p>・内装などに、市内産木材を多く使った庁舎にしてほしい。</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備の段階で検討したい。
22	<p>【会長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価表の1ページにまとめがある。これで全体がわかる。 ・この評価表を見たら順位は何となくつくのではないかなと思っているが、それに関し、どうまとめるか、先ほどは（小郡を）消すことはないよという意見があったが、候補地としての◎○△は残ることにはなると思うが、順位付けをするべきだという意見もあった。これについて、皆さんどう思われるか、御意見をいただきたい。 <p>（委員から意見なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私自身は、せっかくここまで議論したので、我々は、この◎○△を考えると、重み付けの議論もあろうかと思うが、大体順番がつくのではないかなと思っている。 ・小郡総合支所に建てるより、現在地＋中央駐車場か亀山公園ふれあい広場というのが、候補として残り、これをどちらにするのかは、議会で検討してもらえないのかなと思う。 ・全体の評価としては、重み付けはしていないので、単純評価でいくと、現在地＋中央駐車場か亀山公園ふれあい広場になるのではないかという文章をつけて答申したほうがいいのかと思うが、御意見をいただきたい。 <p>（委員から意見なし。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回、候補地を含め答申案を提示し、御意見をいただき、最終的な答申になればいいと思う。

【決定事項】

- 候補地の評価表については、提案した叩き台の内容とする。
- 答申書の中に候補地の評価表を掲載する。
- 評価結果を踏まえ、候補地を含めた答申案を作成し、次回、第7回検討委員会において答申案の検討を行う。

2 第6回検討委員会後、事務局に提出された意見書について

内 容	
1	<p>【評価項目、将来性・発展性について】</p> <p>将来性、発展性と市庁舎建設との関係について、どうしても明確な接点を見出すことが出来ない。もちろん山口市の将来の発展については、企業誘致や人口の増加を計ることは大変に重要な案件であるという認識は全員で共有出来るものと思っている。しかしその条件を満たすものは南部地区のみに限られたものだろうか。山口地域においても国の機関や、観光施設、商店街等人を呼び込むための施設は充分にあると言う認識をもっている。そうした各組織を有機的に結合できるのは山口地域の方がはるかに優位にあると思っている。</p> <p>（よって、山口地域の評点はもっと上にあるべきだと思う）</p> <p>接点と言うことからすれば少し疑問に思うことはあるが、市庁舎についての重要な視点は、やはり市民一人一人が如何に利用しやすい開かれた庁舎であるかと言うことを最重要課題としもう一度原点に戻り見つめ直す必要があるのではないか。</p> <p>多くの機能や、役割を担う本庁舎として有機的組織の核としての役割が十分に発揮できるような庁舎建設であって欲しいと思う。</p>
2	<p>【結論】</p> <p>検討委員会では、新庁舎を建設する場合、どのような条件が必要か、多くの条件の中で、より多くの条件をクリアできる場所を答申案にまとめるのが、この委員会の役割と考えている。自分の主張を通すために、いたずらに審議を引き延ばすのではなく、新しい条件がないのであれば審議を打ち切り、早期に答申案を作成し答申すべきと考える。</p> <p>【理由】</p> <p>附帯決議については第1次合併協議会で検討され、結論がでないことで10年後の市庁舎の建設時に改めて協議することで、協定書から外され附帯決議とされたが、5年後に阿東町との合併が決まり、山口市の行政範囲が広がり第1次合併時の前提条件が大きく変化した。加えて地球温暖化により気候変動、地震や火山の噴火水害等自然現象による市民への影響が重大な問題となり、自然災害に対する対応が重視されるようになってきた。このように前提条件が大きく変化し、社会情勢も変化し、自然災害が大きく猛威を振るう中では、すべての条件をリセットし、新たに構築することが必要ではないかと考える。</p>

また、新山口駅付近を主張される意見では、「附帯決議があるので新山口駅付近が適地である。」との主張で、その理由については説明がなされていない。私が危惧している最大の課題「安全性」についても、現在全国的な課題となっている南海トラフ大震災の津波に対する対応策、地盤の流動化（大原湖断層も含む）について具体的な解決策が示されていない。

まちづくりの項目では、①宇部市との連携中枢都市構想 ②将来性 ③20年30年先のビジョン ④山口市のシンボル ⑤広域圏域の拠点その他多くの構想が示されている。

●項目①

宇部市との連携中枢都市構想については、まだ具体的な動きはなく、実際活動できるのは10年程度はかかるのではないかと。現在、宇部市までは山口宇部道路が開通し、車でのアクセスは小郡と大差なく、小郡の優位性はあまり差がないのではないかと。

●項目②

将来性については、白石地区だけでも、山口市中心商店街の再開発計画が進んでおり、駅前開発（文化的イベントを含む）、空き家対策、亀山公園再開発、また、祇園祭、提灯祭り、ほたる祭り等全国的にも宣伝を広げ山口大学、県立大学とも連携し、山口市外及び全国からの観光客を呼び込む計画を進めている。また国土交通省が提唱しているコンパクト・シティ構想に基づく開発も、同時に進行している。

●項目③～④

新山口駅付近を主張される意見では、20年30年先のビジョンを踏まえとあるが、具体的なビジョンを示していない。実現可能なビジョンを示すべきではないかと。

山口市のシンボルとしてとあるが、シンボルのために、市民の利便性や災害に対する安全性を放棄することが許されるだろうか。

●項目⑤

新山口駅周辺は広域圏域の拠点、連携中枢都市圏域の形成、将来的には県民会館（現在は岩国市）文化会館、県の物産館、高等教育の場、多種多様な施設集積できる可能性があるとあるが、これを達成するための具体的な事業計画（ビジョン）が出来ているのだろうか。希望的な観測では実現不可能であり、新山口駅周辺でなくても可能ではないかと。新山口駅周辺が適地であるとの理由付けが全くなされていない、ただの話である。

例えば、高等教育の場を取り上げてみよう。現在山口市で市立大学を設立することが市議会で承認される可能性は非常に少ない。市立大学となれば、新幹線の駅があるのは評価できるが、今全国の大学が少子化による子供の減少から、定員が確保されず廃校になるケースが増加している。このような状況の中で、膨大な資本を投下して市立大学を創設することが可能だろうか。また、設立には文部科

	<p>学省の認可も必要であり、非常に困難ではないだろうか。</p> <p>市庁舎は市民のための施設であり、1地区の住民だけのものではない。本当に市民が安心して、頼れる施設にすることが求められていると考える。</p> <p>今回の第6回の委員会で提案された、新本庁舎候補地の評価表【叩き台】については、公平に評価されており、検討委員会で発言された内容が忠実に反映されていることから、これを基本に答申書を作成したいと考える。</p>
<p>3</p> <p>(事務局)</p>	<p>【検討委員会の進め方について】</p> <p>限られた回数、限られた時間、発言しにくい雰囲気、44名の委員の発言を求め、徹底的に審議することは困難と思い、グループ討議を提案したが、採用されなかった。</p> <p>第5回の委員会では、発言のなかった地区代表に指名をされて発言を求められ、それなりに意見は出たが、第6回の委員会では残っている人に指名を全くせずに進めたことには、多くの人の意見を聞いてまとめたいと言った会長の方針とは全く逆で、先へ先へ進めようとする意図が感じられ、不信感を覚えた。</p> <p>全員の委員が、自分の本音を出しつくせるような委員会の進め方を願う。</p> <hr/> <p>【評価項目（まちづくり、整合性）について】</p> <p>総合計画、まちづくり計画は、将来の市役所本庁舎をどこに位置したものであるのか、全く関係ないのか（特定の位置は想定していないのか）教えてほしい。</p> <p>前者であれば、このような委員会を開くことはないし、後者であれば、整合性を問うこと自体がおかしいのではないかと。</p> <p>本庁の位置に関しては、山口市総合計画後期まちづくり計画において計画期間内（平成25年度から平成29年度）に審議組織を立ち上げ、検討することとしています。こうしたことから、現在、検討委員会において御検討いただいています。</p> <p>また、本市のまちづくりは、総合計画やその他のまちづくり計画等に基づき取り組んでいます。そして、これらの計画は、本庁舎を含め現在の機能配置をもとに、市民の皆様や市議会の合意をいただいた上で策定しています。</p> <p>委員の皆様から、本庁舎の位置によっては、まちづくりへの影響や計画の再策定の必要性があるなどの御意見をいただいた中で、第5回検討委員会において、新本庁舎の候補地検討のための評価項目として「総合計画をはじめ、まちづくり計画等との整合性」が設定されることとなりました。そして、その結果として、第6回検討委員会において、評価項目にそった評価表を基に御検討をいただいたものと認識いたしております。</p>

【評価項目の評価点（◎、○、△）について】

●人口が集積しているか

本庁舎に多くの市民が行くようなことはない。総合支所、地域交流センターでほとんど不自由しないことを考えると（山口◎、小郡△）は（山口◎、小郡○）でよい。

●他の官公署との連携

山口にありと小郡にありと、業務に支障は全くない。（山口◎、小郡△）は（山口○、小郡○）でよい。

●職員の駐車場確保はどうにでもなる。職員の駐車場と本庁舎の関係を結びつけることには疑問がある。（山口○、小郡△）は（山口○、小郡○）でよい。

【評価項目の総合評価点について】

15の評価項目はすべて同じ価値として取扱われている。私は将来性・発展性が最も価値が高いと思っているので、傾斜配点が必要だと考えている。

したがって、◎、○、△の数で優劣を決めるのはまちがっていると思う。傾斜配点が難しければ、そのことは備考に必ず書くべきだと思う。

【答申書について】

- ・原案にこだわることなく、変更もあり得るという姿勢で時間をかけて進めてほしい。反対意見も答申のどこかに残すべきだと思う。
- ・山口地区、小郡地区のどちらか一本にするのではなく（順位をつけるのではなく）、併記の形で答申すべき。なぜならば、評価項目だけでは順位がつけられず、また附帯決議については全く議論がなされていないからである。

【新山口駅周辺を入れた評価表の作成について】

- 新山口駅周辺を候補地からはずした理由について、民有地があるとか、交渉や取得に時間がかかるなどがあげられているが、評価表の中に、「6. 用地の取得」の項目を入れ、その視点として、用地の取得が容易であるか、交渉が容易にできるか（例）といったことを入れて評価すれば、はずす必要はないため、ぜひそのようにお願いしたい。

※視点については事務局や会長に一任する。

※「6. 用地の取得」の項目の追加がどうしても無理ならば、「4. 経済性・実現性」の項目で新山口駅周辺を評価してほしい。とにかく新山口駅周辺を評価表に入れるべきである。

3 平成28年12月議会における答弁（要約）について

①新本庁舎の役割や規模（総合支所等の権限強化、関連施設の機能集約）に関すること

市長答弁（要約）

総合支所につきましては、その設置条例で規定されておりますとおり、従前の旧市町の範囲が所管区域となっておりますので、総合支所方式による基本的な役割分担を図り、そして広い市域の中で効率的に行政サービスが提供できますよう、総合支所内に土木事務所や農林振興事務所など必要な本庁機能を配置するなど、工夫をしながら本庁、総合支所、さらには、地域交流センターを相互に連携させ、様々な取り組みを進めているところでございます。

御質問の総合支所等の機能強化の必要性については、検討委員会においても、御意見をいただいております。今後の本庁、総合支所及び地域交流センターの役割や権限につきましては、第二次総合計画や次期行政改革大綱の策定を進める中でしっかりと検討してまいりまして、そうした中で、例えば、総合支所の所管区域を見直すといったことが必要ということになれば、そうしたことにも対応し、各地域における、さらなる行政サービスの充実を図ってまいりたいと考えております。

そして、その検討内容につきましては、本庁舎の整備に関する基本方針の決定や本庁舎の整備を進める際に反映してまいりたいと考えております。

総合政策部長答弁（要約）

子育て関連施設など、行政組織と関連深い施設の複合化や機能の集約化につきましては、広大な市域を有する本市の特性や施設の設置目的、山口市公共施設等総合管理計画を踏まえまして、新本庁舎に必要な機能や配置する行政組織を検討する際に、その必要性について、併せて検討してまいりたいと考えております。

②新本庁舎の位置（自治体変革への対応等）に関すること

市長答弁（要約）

昨年8月に新たな10年の国土づくりの戦略でございます「国土形成計画」が策定され、本年3月には中国5県を対象とする「中国圏広域地方計画」が策定されたところでございます。

この計画の中では、中国圏において目指すべき国土形成の将来像と重点的に取り組む基本戦略等が示されておりました。その中の具体的な取組内容のひとつとして、本市が進めています、連携中枢都市圏の形成など都市間連携の推進も位置づけられているところでございます。

また、道州制につきましては、国の動きも不透明でございますので、今後の動向に注視してまいりたいと考えておりますが、将来、道州制に移行し、仮に本市が県庁所在都市でなくなる事態になったといたしましても、広島や福岡という中枢都市圏に挟まれた地理的条件などを踏まえまして、県中部エリアに位置する本市が求心力を持ち続け、経済活動や社会活動の交流が活発に展開され、そして、そうした状況が継続していくことが重要であると考えているところでございます。

したがって、引き続き、県中部エリアにおける広域経済・交流圏の発展に貢献できる

求心力のある広域県央中核都市づくりを推進してまいりたいと考えているところでございます。

こうした中で、本庁舎の位置の検討に際しましては、人が集まりやすく、ポテンシャルの高いという視点は、大切な視点であり、そうした所がふさわしいと、私も考えているところでございます。

人々が集まりやすい場所につきましては、広域道路網や鉄道といった交通の要衝であることはもとより、文化、観光、金融、流通などといった都市機能が集積している所が考えられますが、本市におきましては、山口都市核、小郡都市核ともに、こうした機能集積のポテンシャルが高い地域であると考えているところでございます。

また、本市におきましては、連携中枢都市圏の発展をけん引する連携中枢都市としての役割を果たすとともに、県都として県勢の発展をけん引する役割も果たしていくことが、重要であると考えているところでございます。

こうした中で、本庁舎の位置について考えていく必要があると、認識しているところでございます。

③新本庁舎の位置（連携中枢都市圏）に関すること

市長答弁（要約）

連携中枢都市圏につきましては、本市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市及び島根県津和野町の7市町が有している個性や地域資源を生かし、「圏域全体の経済成長のけん引」をはじめ、「高次都市機能の集積・強化」や「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を推進するためのプロジェクトを中心に、今後、具体的な取組内容の協議、調整を進めてまいりたいと考えております。

こうした中で、連携中枢都市圏構想は、新たな市町村合併を推進するためのものではないと、明確に位置づけられておりますことから、都市圏ビジョンには、圏域内の機能の連携や役割分担など、基本的に、各市町が持つ、既存ストックの有効活用を図るような施策を掲げて、取り組むこととなります。

連携中枢都市圏の形成にあたりましては、引き続き、本市と宇部市が、中心的な役割を果たし、さらに、本市においては県都としての役割もしっかりと果たしてまいりたいと考えているところでございます。

④新本庁舎の位置（附帯決議）に関すること

【1. 合併に至るまでの経過について】

市長答弁（要約）

「新市の事務所の位置」につきましては、まず2市4町の合併協議会におきまして、最終会長案を基に協議されましたが、合意に至らず同協議会が休止となったところでございます。

その後、任意の研究会として旧山口市、旧小郡町、旧秋穂町、旧阿知須町による1市3町合併調査研究会が設立され、2市4町の合併協議会における最終会長案を基に作成された調整案及び附帯決議が合意されたところでございます。

その後、1市3町合併協議会におきまして、1市3町合併調査研究会において合意された調整案及び附帯決議を基に協議が行われ、原案のとおり確認されたところでございます。

そして、旧徳地町が加わりました1市4町合併協議会におきまして、1市3町合併協議会において確認をされた内容を引き継ぐ形での調整案及び附帯決議が示され、原案のとおり確認されたところでございます。

こうした中で、附帯決議につきましては、その過程で色々な御議論がされた中で作成されたものであると考えておりまして、最終的には、法定合併協議会において、それぞれの市町の議会や住民の皆様の合意が得られる形として、また、県央中核都市の実現に向けて調整されたものと認識しております。

そして、こうした協議を経た後に、旧1市4町それぞれの議会において合併関連議案の議決を経ました後、平成17年10月に新たな山口市が誕生いたしたところでございまして、こうした形で合意形成が図られてきたものと認識いたしております。

【2. 附帯決議の尊重について】

市長答弁（要約）

附帯決議は、「将来の事務所の位置については、新市発足後、速やかに新市の事務所の位置に関する審議組織を設置し、協議検討を行うものとする。その協議に当たっては、新山口駅周辺が適地であるという意見を踏まえながら、県央中核都市にふさわしい位置を考慮し、整備については新市発足後10年を目途に審議すること。」と、されております。

私は、これまでも申し上げておりますように、合併前の合併協定項目や附帯決議につきましては、合併後のまちづくりにおける議会の意思を拘束するような強制的な法的拘束力は持たないものと解されておりますが、その内容は合併を決定する上での重要な判断材料になっているものであり、その実現に向けて、努力をしていくことが求められているものであると認識をいたしております。

こうした中、私は合併後の市長としてこれまでも、そしてこれからも、新市の事務所の位置の記載及び附帯決議などを含む合併協定項目におけるその思い、これを尊重いたす中で現在の市民の皆様、市議会の皆様の考え方や思いといったものを大切にし、確認いたしながら、まちづくりを進めていくことが重要であると考えております。

【3. 県央中核都市にふさわしい位置について】

市長答弁（要約）

1市4町合併時におきましては、防府市を含む2市4町の30万中核都市の実現への思いを最後まで持ちながら、合併協議を進めておりまして、そうした思いを附帯決議の「県央中核都市にふさわしい位置」という中にお示しをしているものと認識いたしております。

こうした中で、防府市との合併が困難な状況である現在におきまして、本市では、山口都市核と小郡都市核を中心に高次の都市機能を集積させる、広域県央中核都市づくりを本市の都市政策の柱として取り組みを進めているところでございます。

山口都市核の発展、そして、小郡都市核の発展が、本市全体の発展をけん引しており、こうした両都市核の相乗効果による県都としての発展を進めているところでございます。

今後もこうした、県都としてふさわしい広域県央中核都市づくりの取組を進め、それぞれ

の都市核にふさわしい都市機能の集積を図ってまいりたいと考えております。

検討委員会におかれましては、こうした視点も踏まえて、候補地のふさわしい位置についての検討をされていると受け止めております。

【4. 旧首長会議の開催について】

市長答弁（要約）

1市4町合併の際、合併特例法に基づく、いわゆる法定合併協議会におきまして、当時の首長をはじめとする合併協議会委員により、合併のための諸条件や合併後の将来ビジョンなどが協議、検討されました。

そして、合併協定書が締結され、1市4町それぞれの議会において合併関連議案の議決を経ました後、平成17年10月に新たな山口市が誕生いたしましたところでございます。

当時の首長の会議の開催でございますが、1市4町の法定合併協議会におきましては、1市4町における合併の方式をはじめ、合併の期日、新市の名称、新市の事務所の位置、また、こうしたもののほか、合併後の市町村経営や、住民の福祉に影響を及ぼすものについて、全て公開の場で協議され、決定されたところでございます。

そして、そこに至るまでの全ての合併協議会につきましても、公開で開催され、会議資料や会議録も全て公表されておりますことから、当時の首長の皆様に当時の協議内容を改めてお伺いさせていただくような場の設定を行う必要性は感じていないところでございますし、当時の首長の皆様からもそうした御意向をいただいているところでございます。

【5. 民有地の候補エリアが候補地から除外されたことについて】

市長答弁（要約）

検討委員会におかれましては、御案内の附帯決議について、委員一人ひとりが附帯決議があるという事実を踏まえて協議をされますとともに、附帯決議にある「適地」を評価表という形にして、アプローチされるなど、それぞれのお立場から、熱心に御検討され、検討委員会としての思いを答申という形にされようとしているところでございます。

また、検討委員会の中でも確認をされておられますように、新本庁舎の機能や規模、候補地などにつきまして、最終的に決定いたしますのは検討委員会の協議状況を踏まえて、本市が行うものでございます。

こうした中で、検討委員会におかれましては、本庁舎の整備の方向性について、様々な御議論をいただいているところでございまして、新山口駅近隣の民有地エリアを候補地から外されたことにつきましては、検討委員会において、民有地の所有者の皆様を縛ることができない、また、新たな民有地を取得するところまでの検討は困難である、という思いなどから外されたものだとして認識いたしております。

しかしながら、検討委員会では、山口都市核、小郡都市核、そうしたことの位置付けというのは、きちんと、議論の中に入れられているという認識をいたしております。

新山口駅周辺という言葉と的確に当たるかどうかということはございますけれども、小郡総合支所周辺というふうな形の中で、その中に入れながら、最終的な検討をなされていると認識しています。

いずれにしても、検討委員会で検討されることを踏まえながら、私どもは、最終的に

は議会、または市民の皆様と再度、色々な意見を伺い、議論をしながら最終的には平成29年度に山口市としての方針を決定していきたい、こういうふうに考えているところでございます。

従いまして、検討委員会で検討されている項目、内容につきましては、答申という形の中で、そして、答申が作成される経過において、色々な資料、また色々な議論、こうしたことも、ご報告をいただくこととなると思います。

そうした全体を踏まえて、検討し、また判断してまいる考えでございます。

⑤検討委員会に関すること

【1. 検討委員会のあり方について】

市長答弁（要約）

新本庁舎の整備につきましては、1市4町の合併、さらに阿東町との合併により、広大な市域を有します本市全体、市民全体に関わる重要なプロジェクトでございます。

したがって、その実現のためには、何よりも市民の皆様の合意、そして市議会の合意というものが大変重要で、必要となりますことから、市民の皆様、経済や福祉分野をはじめとする団体等の関係者及び学識経験者など様々な分野から44名と、他自治体における事例と比較しても非常に多くの皆様に、審議組織である検討委員会に御参画をいただき、御協議をしていただいているところでございます。

特に候補地の検討につきましては、大変重要かつ難しい課題であるにもかかわらず、古賀会長、岩野副会長をはじめ、44人の委員の皆様方には、それぞれのお立場から、熱心に御検討をいただき、また、附帯決議にある適地につきましては、その考え方を評価表という形としてとりまとめていただくなど、そのお取組には、心から感謝を申し上げたいと考えております。

委員それぞれの御意見は異なるかもしれませんが、現在、そして将来の山口市の発展を願う気持ちは、委員全員の共通した想いであると確信をいたしております。

私といたしましては、検討委員会での御協議を尊重し、見守ってまいりたいと考えております。

そして、答申をいただいた後は、そうした委員の皆様の実情な想いを受け止め、尊重し、その上で市議会や市民の皆様から御意見を伺いながら、本市としての基本方針を決定し、本庁舎の整備に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

なお、基本方針決定の後には、より具体的な内容等を示します基本計画の策定、そして基本設計・実施設計を経まして、新本庁舎の建設工事着工という流れを想定いたしているところでございます。

【2. 設置根拠について】

市長答弁（要約）

地方自治法第138条の4第3項において、普通地方公共団体は、法律又は条例の定めるところにより、附属機関を置くことができると規定されております。

一方で、地方自治法では、この附属機関についての定義を定めていないことから、検討委

員会、協議会、審議会などの様々な組織についても、地方自治法上の附属機関に該当するものと、該当しないものがあるとの認識を持っているところでございます。

地方自治法の附属機関の該当性の判断の基準といたしまして、個別領域における政策提言型審議会に類する組織であるもの、恒常的機関でないもの、などの条件のいずれかに該当する場合は、条例によらずに委員会等を設置することは差し支えないという見解が示されており、山口市本庁舎の整備に関する検討委員会は、こうした条件に該当いたしますことから、条例によらず要綱によって設置しているものでございます。

なお、県内の他市における、庁舎建設のための委員会につきましては、全て要綱に基づく設置となっております。

【3. 委員構成のあり方について】

市長答弁（要約）

本庁舎は、市内21地域全ての皆様が将来にわたり、利用しやすく、親しみのある本庁舎である必要があり、本庁舎の整備は、本市全体に関わる重要な課題でございます。

その実現のためには、何よりも市民の皆様のご合意、そして市議会の合意というものが大変重要で、必要となります。

こうしたことから、市民の皆様、経済や福祉分野をはじめとする団体等の関係者及び学識経験者など様々な分野から44名の皆様に御参画いただいております。

委員の中には、本市から補助金等を交付している団体の代表者の方もいらっしゃいますが、本市といたしましては、検討委員会の自立した運営を見守っている立場でございます。委員の皆様も、それぞれの団体としての立場から御協議をされておられますことから、委員構成につきましては、特に問題はないものと考えているところでございます。

【4. 資料提供のあり方について】

市長答弁（要約）

検討委員会における資料につきましては、事務局でございます総合政策部中核都市推進室が、検討委員会の会長や副会長と協議いたしながら作成をいたしております。

これまで事務局案として検討委員会に提出した資料につきましては、その概要や方向性などを検討委員会にお諮りした上で、次回の検討委員会に提出しているところでございます。

また、委員からの求めなどに応じて、依頼のありました必要な情報を参考資料としてまとめまして、提供をいたしているところでございます。

附帯決議につきましても、第1回検討委員会資料におきまして、合併協定書における全文を掲載するとともに、市議会における一般質問の答弁の要約を資料に掲載いたすなどにより、本市としての基本的な考え方をお示しいたしているところでございます。

こうした資料に基づきまして検討委員会では、熱心な御協議が行われているところであり、これまで検討委員会に提出した資料につきましては、適切なものであると考えているところでございます。

⑥山口市を分割・分立したまちづくりに関すること

市長答弁（要約）

御案内のとおり、1市4町の合併後のまちづくりとして、広域県央中核都市づくりにおける小郡地域につきましては、新山口駅や周辺市街地を中心に県の玄関にふさわしい新たな交流やビジネスの拠点としての魅力を高める市街地形成を進めているところでございます。

新山口駅ターミナルパーク整備につきましては、昨年10月に供用開始いたしました橋上駅舎と南北自由通路に続きまして、現在、北口駅前広場、南口駅前広場の整備や周辺道路整備等の基盤整備を進めております。

また、新山口駅北地区重点エリア整備事業では、2,000席の収容能力を有する施設としての多目的ホールや起業創業支援センターをはじめとした産業支援機能等の公共施設整備と民間施設の整備とあわせた一体的な整備について、平成32年度の供用開始を目指す中で、民間事業者からの提案募集を開始いたしましたところでございます。

この他にも、小郡地域内の老朽化した市営住宅の小郡都市核へのまちなか集約、下郷雨水排水ポンプ場の増築、増設設備や長通り雨水幹線の改修などの浸水対策事業や長谷ポンプ場の移転新設を進めるなど、市街地形成に欠かせない都市基盤の整備を図っているところでございます。

また、新山口駅と県道山口宇部線を結ぶアクセス道路としての新山口駅長谷線の整備も進んでいるところでございます。

こうした取り組みの結果として、「トゥルージオ株式会社」や「ロボサポート山口株式会社」などの事業所の開設が見られますし、平成27年国勢調査におきまして小郡地域の人口につきましては、2万5,502人でございまして、平成22年国勢調査と比較して1,252人増加いたしているところでございます。

また、全国的に土地の下落傾向にある中、本年7月に発表された平成28年分路線価において、これまで5年連続で下落していた小郡黄金町における路線価が、下げ止まるなど、明るい兆しが見えてきたところでございます。

市街地形成に欠かせない都市基盤の整備につきましては、非常に大きな財政支出を伴うものでございますが、財政健全化の取組や、合併特例債など国の支援措置の活用によりまして、これまで旧市町単位では実施が困難であった、様々な投資を積極的に展開することができたところでございますし、こうした集中投資により、小郡地域が県の玄関として発展することは、周辺部をはじめ、他の地域にも良い波及効果をもたらすことになり、市内の各地域の皆様にも、御理解をいただいていると、私は信じているところでございます。

こうしたことから、議員御案内の、小郡地域が分割または分立したうえでの、広域連携による取組につきましては、具体的なイメージが捉えられないところでございまして、私いたしましては、現在の山口市の枠組みの中で、先程申し上げました合併効果を最大限に発揮しながら、小郡都市核づくりをはじめとする本市のまちづくりを進めていくことが、本市や県勢の発展につながるものと考えているところでございます。

4 新本庁舎の役割、機能、規模、候補地について（意見まとめ）

1. 候補地について、これまでの意見(要約)を項目別に分類し、まとめたもの（ゴシック体の意見は第6回検討委員会での意見。意見書含む）

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	市民	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が使いやすいのが一番 ・市民の利便性を大切に ・地方自治法第4条第2項には、住民の利便性のため、交通や他の官公署との関係を考慮しなければならない、とある 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用するのでアクセスしやすい場所が求められる ・現在の本庁舎へ行くのに30分かかるが、小郡になると50分となるため、位置は亀山ふれあい広場が良い ・新幹線を利用して市役所に来る人はいない ・新幹線は市庁舎の位置を決める場合、市民に直接影響はない <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新山口駅周辺の利便性は、主に市外から来街者や事業者の視点で見ると便利であるが、市内居住者全体の利便性で考えるべき。市庁舎を造るので、別の市を考えるより、まず、山口市民にいかに便利なのか、使いやすいかを考えて議論する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・県外から山口県庁や山口市役所に来る人は必ず新山口駅で乗降する ・交通の便は大きなウェイトを占める ・萩から山口に県庁が移転したのも交通の要衝であったから ・新山口駅周辺は、交通の便もよく、人口も増加し、市の玄関口として開発できる土地があるため、庁舎の位置として適当である
		自動車によるアクセスが便利か			

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	市民	来庁者用駐車場が確保されているか	<ul style="list-style-type: none"> 外に出ている組織を1か所に集める場合、必要な駐車場が本当に機能できるのか 	
		市民	人口が集積しているか【(人口重心、人口集中地区など(将来含む))】	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの拠点とする考え方で、人口集積率も頭に入れながら検討していく必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 人口構成を考慮すべき 人口集中地区を考慮すべき(総人口は大幅に移動しないのでは) 人口重心を考えるべき 約60%(約12万人)の人口が山口側にあり、亀山公園ふれあい広場がよい <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方自治法からも行政サービスの公平性が原則。人口重心は、庁舎の議論の際、どの市町村でも検討する重要な指標。平成22年の国勢調査を基に算出すると、山口市の人口重心は吉田キャンパス付近。庁舎までの移動人口×移動距離の総和を出すと、本庁舎が新山口駅にあるほうが、多くの人長い距離を移動し、時間とコストがかかる。このことを許容するののかも議論する必要がある

項目				全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	市民	人口が集積しているか【(人口重心、人口集中地区など(将来含む)】		<ul style="list-style-type: none"> ・山口市各地からの距離があまり偏らない、ほぼ中心地が望ましい ・小郡～阿東間は50kmとなり、高齢化が進む中、行き来が難しい ・北部、南部から見ても中間的な位置にあり、利用しやすい ・多くの人が集まる湯田温泉もあり、本庁舎があったほうが便利 ・湯田スマート IC の計画もある 	
		行政	他の官公署や関係機関との連携が容易か		<ul style="list-style-type: none"> ・本庁の選定に当たっては、国や県の施設との関係も重要である ・白石地域は公共機関や、行政機関が集中し、各行政機関の集中度が高い地域が望まれる ・山口都市核は、行政関係のインフラが整備され、こうした地域特性の活用により、行政効率の向上を図ることが重要 ・県や国の建物も多く利便性もあり、現在地が良いのではないか ・県庁、警察等の建物が集中しており、利便性が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎が山口にありと小郡にありと、業務に支障はない。

項目				全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
1	利便性	行政	職員用駐車場が十分に確保されるか			・職員の駐車場確保はどのようにでもなる。職員の駐車場と本庁舎の関係を結びつけることには疑問がある。

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
2	防災・安全性	<p>自然災害（地震、台風、豪雨等）に対する安全性が十分か</p>	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般論として、建ててほしくないところとして、地すべり地域と土石流地域がある。川の近辺でかなり浸水するところも避けなければいけない ・市庁舎だけを丈夫にしても防災対策にならない。地盤が安定したところを探すのが良い ・災害に強い庁舎の場所選定が大事 ・南海トラフの巨大地震が30年以内の確立が70%であり、県の想定でいくと、候補エリア⑥は津波の影響を受ける。亀山公園までの影響は考えられない。津波が来ている間は市役所の職員は籠城し、災害対応はできないという、覚悟をもって選ぶ必要がある <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所は安全でないといけない ・ハザードマップ等で災害の少ない場所、国や県等の施設との利便性、市民会館等を考えると現在地が望ましい ・津波、高潮の心配もなく、土砂災害の危険も少なく安全が確保できているのではと思う ・ハザードマップを見ると、小郡地域は無理そうかなと感じる <p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップについて、浸水想定されていても必ずそこが駄目とは言えないが、新しく建設するのに、あえてそこを選ぶ必要もない。国が一級河川について1000年に一度の浸水被害を想定したハザードマップを作成し、浸水深が20mになるところもでてきた。今後、県が県河川（樫野川）も想定を上げれば、想定の上水深は今よりもさらに深くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの候補地も安全ではなく、何らかの対策をしなければ防災の観点はクリアできないのかなと考えている

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見	
2	防災・安全性	自然災害（地震、台風、豪雨等）に対する安全性が十分か		建ててはいけないと言っているわけではなく、建てるにはそれなりのお金と職員の動きを、覚悟を持って山口市民みなさんが受け入れる必要があると思う	
		災害時に、避難所や防災拠点として機能できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害対応をどこがとりやすいか。県庁との連携もあるし、県警との連携もある。自衛隊との連携も必要 【専門委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・浸水は一旦浸水すると市役所が孤立するので職員を派遣することは当分できない。情報収集や情報発信のために職員が移動もしくは参集することすらできない。一方地震は、一旦揺れが収まれば、周囲の状況に注意しながら参集や職員を地域に派遣して動くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策として機能することができる場所が求められる 【専門委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・地震は避けようがないが、免震構造にすれば大丈夫。ただし、小郡の沖積層に建てるのであれば、時間とコストをかけて地盤強化が必要。浸水したことのあ る地域は、将来、より深い浸水が起こる可能性が高い。どうしても浸水する可能性のある地域に建てるのであれば、1階はほぼ機能のない庁舎を建てることになり、建物規模も大きくなる。 	

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
2	防災性・安全性	災害時に、避難所や防災拠点として機能できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・物資や自衛隊拠点など災害時に多目的に使用可能な敷地が近くにあることが望ましい 	<p>現在の位置であれば、県庁・自衛隊などが近いため、災害時の対応が早いと思われる。私自身、どこが良いということは、この場では申し上げるつもりはなく、あくまで、自然の環境と災害対応、そういった面での意見を言わせていただいた</p>	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	<p>総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の位置にするのであれば、他の計画はそのまま進めていけばいいが、小郡に移したときに、並列して走っている計画はどうなるのかも含めて議論をしないとイケない ・現在地にするか、新山口駅周辺にするのか、メリット、デメリットの検討や、位置を移す場合は相当理由をしっかりとしないとイケない ・全市民の安心・安全、利便性を捉え、市民目線のまちづくりの視点で考えるべき ・山口都市核、小郡都市核を中心に計画が進められ、新山口駅周辺の開発も進められているが、山口市がどう変わっていくかを予測するのは難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した市民会館を解体し、庁舎を建設し、小郡に文化会館的なものを建設し、小郡をにぎやかにする。 ・来庁者は、車、自転車、徒歩が殆どで、新幹線を利用する市民はいない。災害発生時に災害対策本部として機能することが必須であり、地滑りや浸水しても交通が遮断されない道路網が整備されていることが重要。以上のことから現市民会館と併合した複合ビルを提案する。 ・各地域の特性を考える必要がある ・大内文化が栄えた文化の里であることを山口の中央に植えつきたい ・教育・文化・歴史のまちづくりという点では旧山口が最適であり、平地になっている亀山公園が最適ではないだろうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇部市との連携中枢都市構想により県央部の魅力ある地域づくりが達成できると期待しており、建築場所は宇部市との距離も勘案し、新山口駅周辺がよいのでは ・連携中枢都市を宇部市と交通の要衝として進めている ・将来の発展を考えた時、現在地よりも新山口周辺の方が期待が大きい ・宇部市との都市連携を進めていくとき、どこが中心になるかを考えれば、自ずと結論がでるのでは ・山口県、山口市の玄関口としての将来構想、宇部市、美祢市、防府市との玄関、こういったものを含めて、山口県をリードできるような山口市構想を考えてほしい ・広域経済交流圏の中心として山陽の広域経済圏に対抗し、その中心が山口市でありたいときいている

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・小郡都市核は、今ある交通インフラを活用した振興策を重点的に進める方が、今後の地域振興になるのではないだろうか ・小郡は産業交流、交通をいかして発展すべき ・10年前と今では状況が違っており、状況が変われば柔軟に考えるべき ・北部から本庁機能がなくなると、総合計画などへの影響が大きいのではないか ・人口が減少する中、バランスのとれた発展が大事 ・5段階に分けて点数化し候補地を評価した結果、現在地が最適となった ・他の候補地が現在地に優る大きな理由が見当たらない ・亀山ふれあい広場が最適 ・行政、歴史、文化の中心である ・わざわざ遠くに行く理由がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市、山口県の玄関として整備すべきでないかと思い、位置は新山口駅周辺がいい ・20年、30年先のビジョンを踏まえ検討すべき ・30年後を見据え、山口市の心意気を示してもらいたい ・山口のシンボルとして南部の方で考えてもらいたい ・将来性を考え、将来の街づくりに大きな経済効果を生まれるのではないか ・附帯決議を前提に考えるべき ・新山口駅周辺は広域圏域の拠点、連携中枢都市圏域の形成、将来的には、県民会館、文化会館、県の物産館、高等教育の場、多種多様の医療の施設が集積できる可能性があり、庁舎の位置として適当である

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画にも山口都市核と小郡都市核について明記されており、それぞれの役割や将来像ができています ・小郡地域には羨ましい限りの税金が投入されている ・小郡地域を市民、県民の玄関口として発展させることは必要であり、バス路線や道路網を整備し、利便性を高めることは必要 ・現地か亀山ふれあい広場が最適 ・交通の便という話が出ているが、600年前の大内氏時代から毛利氏の明治維新までの歴史的な側面でも検討すべき ・新たなところに造ればその機能が充実するまでに100年くらいかかるのではないかと 	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 候補地の中に農用地指定されている農地が選定されている。原則農地転用不可であるが、敢えて農地を潰して宅地化する、もしくはスプロールを助長させることは、土地利用の観点から少し問題があるのではないかと思う <p>まちづくり方針は行政計画として市民の合意を得た将来計画。これに基づかないことは、合意したものを破棄し、もう一回合意させないといけない</p> <p>山口都市核は現本庁舎を中心に行政、商業、観光、歴史、文化、居住などがコンパクトに集まっている。都市再生特別措置法でコンパクトなまちづくりを地方レベルでも推進していくことが言われている。山口都市核のコンパクトな生活圏をリスペクトしてモデル的に考えていくことも案としてあるのではないかと思う</p>	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>現本庁舎は、市民合意を得た大内文化まちづくり推進計画と中心市街地活性化基本計画の中間にある。その庁舎がなくなると、2つの計画がどうなるかということは、影響が大きい</p> <p>山口都市核のコンパクトな都市構造というポテンシャルをあえて壊す必要はないと思う。コンパクトな都市構造をそのまま住民レベルの活動で歴史、文化などを生かしながらまちを再生していくことに庁舎の位置づけはなくてはならないと思う</p> <p>小郡都市核はたくさんの計画があり、足し算の計画である。そこに山口都市核から引き算となってしまう難しい。</p> <p>宇部、防府も庁舎を造ろうとしているが、その中に広域連携の話は知る限り出てこない</p>	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<p>山口市の庁舎を計画する時、広域まで巻き込んで庁舎を造るというロジックは分かりにくい。山口市民が分かりやすい、使いやすい庁舎を考えていくべきではないかと思う</p> <p>そういった点で客観的なアプローチをすると、熟度が増すのではないかと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿東町との合併等を経た現在の山口市の市域、人口分布、都市基盤の積み重ね、防災意識の高まり、現在のまちづくり計画などを踏まえると、新市における本庁舎の位置は、現在の本庁舎もしくは亀山公園ふれあい広場周辺での整備が望ましい ・山口都市核づくり、小郡都市核づくりで考えると、亀山のほうが市政の発展だけでなく、洪水、土砂の面からも良いと思う 	

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	総合計画をはじめ、まちづくり計画等と整合性が図られているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでのまちづくりの継続性や、県や国などの行政機関が集約されているので、亀山公園ふれあい広場が適地ではないか ・ 附帯決議があるが、南部地域でも意見はまとまっていない ・ 亀山ふれあい広場を推す。市庁舎は市民が利用する施設であり、市民の利便性が第一。交通弱者に対する公共交通による移動手段を考えた場合、新山口駅周辺では偏った位置にある ・ 2つの都市核をどう位置づけるかというまちづくりの観点から、行政、文化、教育の中核的施設の一つとして山口都市核に置くべき ・ 総合的に機能を発揮する施設にするべきで、初めから非効率的な機能分割を考えるべきではない 	

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
3	まちづくり	周辺環境や景観に配慮されているか		<ul style="list-style-type: none"> ・場所は山口が適当だと思うが、現地建替え(①-1)の場合、6階建てでは景観が損なわれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山で高層建物は景観をこわすのでは

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
4	経済性・実現性	<p>事業費（財政負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の問題については、将来的な負担額がかなり圧縮されているので、初期投資を少し増加させたとしても、費用対効果としては十分いけるのではないか ・財政負担が大きく、将来の市財政を圧迫する ・人口減少に伴って職員数、延床面積を減らすべき ・今の市役所を解体し、仮庁舎を作ると、仮庁舎の無駄が出る 		
	法手続きや民有地取得等により時間や経費を要することがないか	<p>【専門委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答申から決定、計画と、ただでさえ時間を要するのに、民有地を求めるとなるとさらに時間を要するため、公有地で検討すべき ・庁舎を分割して建てると、コストが当然増えていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・民有地は取得にかなり日数がかかる ・候補地として6案あるが、民有地をこれから取得する問題、用途地域や進捗中の事業の関係などから考えると、亀山ふれあい広場が最適。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地（市庁舎、駐車場）が広く、安く確保しやすい

項目			全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
5	将来性・発展性	市外、県外の人をたくさん呼び込むことができるか		<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の交流人口実績を見ると圧倒的に山口地域が多いので、こちらの評価も小郡と同様に◎ではないか。 ・ 企業誘致や人口の増加を計ることは大変に重要な案件であるが、山口地域においても国の機関や、観光施設、商店街等人を呼び込むための施設は充分にあると認識をしている。 ・ 将来性については、白石地区だけでも、山口市中心商店街の再開発計画等が進んでいる。また、山口大学、県立大学とも連携し、山口市外及び全国からの観光客を呼び込む計画を進めている。 ・ さらに国土交通省が提唱しているコンパクト・シティ構想に基づく開発も、同時に進行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1市3町合併調査研究会の中で、新市の名前を「山口市」、庁舎の位置を「新山口駅周辺」でいいのではと確約されていた ・ 将来のことを考えると、現在地への建て替えは市の発展の先は見えている ・ 1点に機能が集中するのではなく、広い市域で考えていかないといけない ・ 市が発展するには、市外からどれだけ人や企業を呼び込めるかであり、玄関口である新山口駅で旗を振らねば意味がない ・ 将来、連携中枢都市を進めるにあたって、新山口駅周辺が適地である ・ 発展するところに投資するのは当たり前である

項目		全体意見	山口地域を適地とする意見	小郡地域を適地とする意見
5	将来性・発展性	企業を誘致し、移住を促進するための条件はそろっているか（交通の便、広い土地、生活環境）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇部市との連携中核都市構想については、まだ具体的な動きはなく、実際活動できるのは10年程度はかかるのではないかと。 ・ 宇部市までは山口宇部道路が開通し、車でのアクセスは小郡と大差なく、小郡の優位性はあまり差がないのではないかと。 	

2. 行政機能等、防災・安全性、候補地の検討や意見集約の方法などに関する意見

- 【行政機能等】 県庁所在都市の本庁舎であることや市域が広くなり 1000km² を超える大きな自治体となった。そういう山口市の本庁舎と総合支所、地域交流センターをネットワーク化する中で、防災、情報といったところの本庁舎が、かなめになる
- 【行政機能等】 市役所本庁舎は都市機能の拠点となる。さらに市民活動の拠点になりうる。周辺市街地、非常にいい影響を与えるので、例えば市街地の再生を図っていかうとするケースであるのか、それとも衰退した地域を何と盛り上げようとするケースなのか、そういう諸問題があったとすれば、建替えによって大きく影響があるということで、良い方向に向かわせることができるのではないか
- 【行政機能等】 従来の機能に加え市民の文化活動のために開放されたスペースと地域の文化や教育を発信する機能が必要
- 【行政機能等】 本庁舎整備を機に本庁と総合支所の役割・分担を明確にし、住民自治の拠点となる総合支所の強化を検討すべき
- 【行政機能等】 機能については、本庁舎の機能と、総合支所を完全に切り離すべき
- 【行政機能等】 教育委員会など分散している組織について集約した方がいいのか、今までどおり集約しないのか、それについて総合支所機能は崩さない前提で議論しとりまとめないといけない
- 【行政機能等】 障がいの有無や外国語住民、働く男女、高齢者等多様化するライフスタイルに対応した環境づくりが必要
- 【行政機能等】 市民の利便性を考えると、5時閉庁や土日が休みの本庁舎ではこれからの働き方に対応が難しいのでは
- 【行政機能等】 市民サービスの電子化、オンライン化、総合支所とのネットワーク化など、新しい形のサービスが提供できる情報インフラ整備や機能化の視点が必要
- 【行政機能等】 障がい者やお年寄りに対する配慮、特に災害時については支援機能が必要ではないだろうか
- 【行政機能等】 総床面積削減→市職員の削減を答申に盛り込むべきである
- 【行政機能等】 市民が利用しやすい機能を有し、災害に強い安全な庁舎整備を要望する
- 【行政機能等】 サビエル記念聖堂を含む亀山公園周辺の景観に配慮した建物配置と周辺整備が望ましい
- 【行政機能等】 広い道路に面し、十分な面積のある利用しやすい駐車場が好ましい
- 【行政機能等】 位置の検討に引きずられて、機能などの面が深く話し合われていない
- 【行政機能等】 大殿・湯田・白石は人口3万人だが出張所機能がない
- 【行政機能等】 総合支所や交流センターの機能強化が必要

【行政機能等】将来的なことを考えると、現在検討している規模で良いのか。(少子化が進み、スペースが余るのでは)

【行政機能等】総合支所(小郡、秋穂、阿知須等)をまとめてコンパクトにしても良いのでは

【行政機能等】総合支所や地域交流センターの機能がしっかりしていれば、本庁舎はどこにあっても問題はない

【行政機能等】本庁舎はコンパクトでよい。総合支所機能を強化するため、山口地域に新たに総合支所を整備することも必要

【行政機能等】子育て支援の立場から、新庁舎の駐車場は、障がい者だけでなく子育てをする人のための屋根つき駐車場を6台くらい整備してほしい。

【行政機能等】内装などに、木材を多く使った庁舎にしてほしい。

【防災・安全性】地震に関しては、小郡も山口も断層帯であり、震度6強は免れないと思う。ただ免震を入れることで、かなり力を減制することができる

【防災・安全性】市民の安心安全というのが大変重要視されており、防災拠点としての機能を備えた施設であるべき

【候補地の検討や意見集約の方法】検討委員会は市庁舎を設置するにはどのような条件を満たさないといけないのかを調査、検討し、住民の意見を反映させることが目的である

【候補地の検討や意見集約の方法】合併時の附帯決議を決定した時と、阿東町との合併により山口市の規模も、社会情勢も大きく変化しており、現在の山口市の規模、社会情勢、自然災害等の実態に基づき検討することが必要

【候補地の検討や意見集約の方法】異なる意見があるので、場所をどこにするか、委員全員の無記名による投票を行うとともに、異なる意見を併記し、答申する。

【候補地の検討や意見集約の方法】すべての委員が意見を出し合う必要があるため、少人数のグループを組んで協議する時間を設け、それを取りまとめて答申としてはどうか

【候補地の検討や意見集約の方法】適地であるかどうか検討する指標項目に「将来性」を追加してほしい

【候補地の検討や意見集約の方法】一部の人の意見で決定せず、点数やアンケートですべての委員から意見をもらうべき

【候補地の検討や意見集約の方法】これまでの議論は、地域エゴ、我田引水の印象を受ける

【候補地の検討や意見集約の方法】一部の人の意向に偏らない、全市民に恩恵が及ぶように議論を進めてほしい

【候補地の検討や意見集約の方法】将来を考える要素として、年齢別の人口推移を示してほしい

【候補地の検討や意見集約の方法】場所は、絶対どこでないといけないということはないと思う。

【候補地の検討や意見集約の方法】答申では、両論併記でも良いので、片方を切り捨てるようなやり方だけはやめてほしい。

【候補地の検討や意見集約の方法】適地はひとつしかなく、ひとつにまとめて答申すべき

【候補地の検討や意見集約の方法】評価項目を傾斜配点すべき。それが難しければ、そのことを備考に書くべき

【候補地の検討や意見集約の方法】反対意見も答申のどこかに残すべきだと思う

【候補地の検討や意見集約の方法】山口地区、小郡地区のどちらか一本にするのではなく（順位をつけるのではなく）、併記の形で答申すべき

（専門委員の意見）

【候補地の検討や意見集約の方法】適地の基準が示されたので、客観的にどの候補地が適地であるか評価を行う必要がある

【候補地の検討や意見集約の方法】附帯決議も大事とは思いますが、最終的には市民の意見で決定すべき

【候補地の検討や意見集約の方法】候補地、候補エリアが6案と多く、抽象的な話しかできていないため、2～3箇所以案を絞るべき

